

国際ロータリー 第2570地区

# 行田ロータリークラブ

2015-16

RI 会長: K.R.ラビンドラン

ガバナー: 高柳育行

会長: 小沢 瑛 / 幹事: 小椋 剛

例会日: 木曜日 午後 12:30 開会

会場: ペルヴィアイトピア

編集・発行: クラブ会報委員会



第2424回 11月第4例会 11月26日(木)

[ 移動例会 モスバーガー御用達の「赤城高原農場・野菜クラブ」見学 ]

～ 感動農場から学ぶ 人づくり・土づくり ～

- 点鐘 小沢 瑛 会長
- 国歌斉唱、ロータリーソング斉唱
- 四つのテスト唱和
- 会長の時間 小沢 瑛 会長
- 幹事報告 小椋 剛 幹事

- 委員会報告
- 卓話 澤浦彰治氏
- 出席状況・ニコニコ報告
- 点鐘 小沢 瑛 会長

## 点 鐘

## 会 長 の 時 間



本日は武笠職業奉仕委員長と新井副委員長のお骨折りで私たちは知らなかった赤城豊園の見学と社長の卓話という事で非常に期待しております。また、昭和インターから豊園に来るまでに初雪を見る事が出来、少し感動しました。

卓話を聞いて、とてもこの豊園の素晴らしさを感じました。モスバーガーと契約して新鮮なトマトを毎日出荷しているそうです。最初は3人で立ち上げた豊園だったそうですが、

今では10億円以上売り上げる立派な豊園になっています。しかしながら、色々な人達が入って大きくなった今でも大事な事は3人で決めて行っているそうです。

帰りにとても美味しい手打ちそばのお店でくるみ汁のお蕎麦を頂く事ができました。職業奉仕委員会の皆様、本当にありがとうございました。



## 卓 話 講 師 紹 介



武笠 毅委員長

例年は職業奉仕事業として実力は事業経営者の体験談・事業などを例会卓話として開催しておりますが、今回は新しい試みとして、我々とは接点の薄い「食材」の生産現場の視察並びにコダワリ経営農場の企業理念や事業を紹介頂きたく伺わせて頂きました。

## 卓話



多忙を極める澤浦社長より、当日は幸運にも卓話を頂くこととなりました。

澤浦社長は、親子二代の専業農家として試行錯誤の末、有機栽培によるコダワリ農業経営を確立。

かつて負け組農地だった昭和村を農産物の対商社直接取引という斬新なスタイルにより村ごと活返らせた賢者の経営姿勢と着眼点には脱帽。我々の馴染の薄い食材の生産現場で、確かな刺激と学びを頂く貴重な移動例会でした。

### 【経営方針抜粋】

- 土耕有機栽培
- 年中安定供給づくり
- 自分で価格を決められる農産物づくり→規格外野菜も漬物加工で有効活用
- 一農家一億年商づくり
- 三位一体の関係性マーケティング＝経営者・従業員・取引先
- 世襲にとらわれない後継者育成＝起業農家独立支援よるのれん分け
- 衛生・安全・品質管理＝グループ部門制による技術共有と教育制度



富田担当部門長より謝辞



食品衛生管理についての質問



「食」へのこだわりで女子力も集中



漬物部門の説明&試食



獲れたてフレッシュ野菜



昼食会は地場の人気そば店にて「くるみ汁そば」を堪能



会長より講評



「半熟玉子丼」も美味でした。